

おたさん

暮らしに幸せ運ぶ

JA鶴岡

2017
November
No.563

11

JA 鶴岡広報誌



特集
不動産センター移転オープン
つるおか大産業まつり2017



もくじ

CONTENTS

③ NEWS & TOPIX

⑥ 特集

不動産センター移転オープン つるおか大産業まつり2017

⑧ 組合員紹介 / 職員紹介 / 専門部紹介

⑨ Hello Sweet Baby! / わが家のペット

⑩ 園芸情報 / 農業・農政情報

⑪ 信用課からのお知らせ / 料理紹介

⑫ 青年部だより / 女性部だより

⑬ 福祉だより / 理事会開催報告

⑭ クロスワードパズル / ふれあい伝言板

⑮ JAからのお知らせ 編集後記「灯台」



西沼 菅原 かずのり 和憲さん (47才)

専門部員が少なく、先輩からの誘いもあり、今年初めて温室メロン（アールスメロン）の栽培に挑戦しました。

夏のネットメロンと違い、寒い季節に作るメロンは、水管理、温度管理、土づくりとわからないことだらけでした。先輩に何度も聞きに行き、指導いただきながら、やっと収穫できた喜びはひとしおでした。

この温室メロンを、ぜひ大切な方と召し上がってください。そしてあなたも温室メロン栽培にチャレンジしてみませんか。

組合長コラム

凜として

庄内平野は誰のもの？

十一月に入り、庄内平野を見渡せばすでに稲は刈り取られ、所々に大豆畑が残り、大豆コンバインが気ぜわしく動いている。あと半月もすれば、大豆の刈り取りも終わりを来春まで庄内平野も冬眠に入る。

我、JA鶴岡には商売柄、関東、関西方面より市場関係者の皆様、米の卸の方々が数多く訪れる。庄内空港に降り立ち、車で農協までお出で頂くと訳だが、その道すがら見渡す限り続く庄内平野を見て、整然ときれいに管理された田んぼを見て必ず「すばらしい」「こんな所は見たい事がない」と感激して頂ける。我々が日頃、見慣れた風景、当たり前と思っていた景色が、こんなにも感動してもらえらる一つの財産である事を再認識した所である。ここ、庄内には海もある、

山もある。そして、川もある。素晴らしい所である。

しかし、観光客の皆さんが、庄内空港に降り立ち、最初に目にするのは庄内平野である。もし、庄内平野が荒れ果てていたら観光客の皆さんはどう思うだろうか。荒れ果てた田んぼの中を歩いていく羽黒山、月山、加茂水族館を見て観光客の皆さんは感動してくれるだろうか。又、この鶴岡に来て見たいと思ってくれるだろうか。

今まで我々は、農業者だけの視点で庄内平野の美田を守る意識でいたのだが、そうではない。庄内平野は我々農業者だけのものではなく、ここに住んでいる皆さんのものでもある事を忘れてはならない。

代表理事組合長 佐藤 茂一



J A 鶴岡農業まつり

秋のビックフェアとゴルフコンペを開催

10月14日と15日の両日、白山のJ A 農機・自動車中央センターとすまいるプラザ周辺で、J A 鶴岡農業まつり「秋のビックフェア」を開いた。2日間で759戸の組合員家族が訪れた。

トラクターやコンバインなどの農業機械、新車、中古車を展示。職員やメーカー担当者が新型機の特徴や能力を説明し、商談を進めた。ふれあい電化ショーでは、家電や生活用品、ガス器具が数多く並べられ、家族連れなどでにぎわった。J A グリーン資材館まつり



多数の農業機械を展示した会場。

ではジェネリック農薬などを販売した。

10月26日には、湯の浜カントリークラブで、J A 鶴岡組合員交流ゴルフコンペを開いた。組合員、J A 関係者99人が参加し、和気あいあいとプレーを楽しんだ。

個人の部では、優勝Ⅱ五十嵐良弥 J A ぞでうら組合長、準優勝Ⅱ佐藤祐三さん（布目）、3位Ⅱ齋藤広義さん（茅原）が入賞。団体の部では、大泉チームが優勝した。



コースでプレーする参加者。

だだちゃ豆専門部

だだちゃ豆精算報告会と研修会を開催

だだちゃ豆専門部は10月24日、「だだちゃ豆」の2017年度精算報告会と全体研修会を東京第一

ホテル鶴岡で開いた。生産者、市場関係者ら約80人が出席した。

低温や日照不足で収穫が遅れ、出荷量が減少したが、最終的には平年並みに回復。前年比98%の813トンを出荷した。

専門部の加賀山雄部長は「気象条件に悩ませられたが、平年並みとなったのは最後まで諦めずに出荷していた農家のおかげ。今年の結果や課題を踏まえて計画を立



総括する加賀山専門部長。

て、来年度に向けて実行している」と述べた。

今年は関西方面への出荷にも力を入れ、大阪市場でのトップセールスや県産地研究室で光センサーを使った「だだちゃ豆」の食味分析を初めて実施。結果は生産者に個別に報告。J A と産地研究室で分析し、今後の指導に生かす。

同日開かれた全体研修会では、ダイズシストセンチュウ被害と対策、エダマメの効果的な防除方法を学んだ。



今年度の総括と次年度へ向けた課題を確認する生産者ら。



表彰を受ける生田次長と伊藤さん。

県テラーコンクール

西郷支所の伊藤璃菜さんが優秀賞を受賞

9月15日に天童市で開かれた、農林中央金庫山形支店主催の2017年度テラー（窓口担当者）コンクールで、JA鶴岡代表の西郷支所貯金係の伊藤璃菜さんが優秀賞に選ばれた。

同コンクールは提案型セールス強化を目的に開かれ、県内各JAの予選を勝ち抜いた12店舗が出場。設例3の部で、西郷支所貯金係の伊藤璃菜さんと生田真智子金融次長ペアが見事優秀賞を獲得。伊藤さんのにこやかな対応やメリハリのある丁寧な説明、多忙な顧客にネットバンクをお勧めした着眼、住宅ローンに住建相談の総合事業メリットをアピールしたことなどが評価された。

長ねぎ専門部

長ねぎ目揃会を開催

長ねぎ専門部は9月25日、北部集荷場で長ねぎの目揃会を開き、出荷の統一を進めた。

伊藤鉄也専門部長は、天候の影響から病害虫の発生が増えており、防除・選別を徹底するよう伝えた。その後、営農指導員が10月から変わる秋冬ねぎとしての出荷基準について説明した。

長ねぎの白根の長さ、太さなどの等階級の変更箇所や根切りや結束方法、箱詰め時の注意点について、サンプルを見せながら説明。選別を徹底し、病害虫の影響が見られるものは出荷しないよう呼び掛けた。

販売担当は、「夏からの出荷分は、クレームは出ていない。今後も選別を徹底しクレームをなくす事が高単価につながっていく」と伝えた。



サンプルで出荷規格を確認する参加者。



肉巻きおにぎりを作る参加者。

第3回あぐりセミナー

「米、くうべー」新米使った料理学ぶ

10月13日、鶴岡市農村センターで第3回あぐりセミナーを開き、市民31人が参加した。

ナチュラルフードコーディネーターなどの資格を持つ矢作由美子さんが、新米を使った料理講習をテーマに指導。アシスタントを務める料理研究家の樋口順子さんの著書「米、くうべー」から、りんごライスの肉巻きおにぎり、米粉のプレッツェル、きのこの緑茶スープを作った。

JAを知ってもらうことを目的とした「JAの時間」では、JA職員が青年部と女性部の食農教育や仲間づくりなどについて紹介した。参加者は「いろいろな活動に興味を持った」と話した。

庄内柿の安定販売に向け 生柿目揃会を開く

庄内柿専門部は10月10日、金谷選果場で生柿目揃会を開き、生産者ら20人が参加した。例年通りの生育状況でスタートした本年産の庄内柿はやや小玉傾向にあり、ひょう害や台風などによって被害を受けたものもある。1個あたりの重量や熟度、形状などの選別基準を、サンプルを見せながら説明し選別の徹底を呼び掛けた。

営農指導員は「本年産は全国的にやや豊作となっており、大玉出荷が改めて高値販売に重要になってくる。変形果や病害果は今からでも摘果し、防ひょうネットなどで被害を軽減してほしい」と話す。



サンプルを見ながら出荷規格を確認した。



姥ヶ岳での集合写真。

トレッキングと特養施設の見学

けさらん愛、愛サービス、女性部、げんき部会と女性部、げんき部会は10月16日、西川町の月山トレッキングと福祉施設の視察研修を合同で開いた。部会員と職員26人が参加した。参加者は、赤や黄金色の紅葉で彩られた月山を見ながら、副峰姥ヶ岳まで1時間かけて登頂。

登山後は、鶴岡市熊出の社会福祉法人・朝日ぶなの木会が運営する特別養護老人ホームを視察研修。伊藤貫正施設長から、事業内容や入居者の介護力向上への取り組みを聞いた。特別養護老人ホームぶなの杜、かたくり荘を見学した。

J A 鶴岡と農政対策推進協議会 鶴岡市へ農業予算への支援要請

J A 鶴岡と農政対策推進協議会は10月25日、鶴岡市に「平成30年度鶴岡市農業関連予算の編成にあたっての要請」を行った。

伊藤淳専務が要請書を渡邊雅彦農林水産部長へ手渡した。

平成30年度は、水田営農を基盤としてきた農業にとって、非常に重要な年となる農業振興に向けた一層の支援が必要と訴えた。

主に、労働力不足に対応するための省力化・機械化体制の普及促進、共同選果施設整備・導入に向けた調査、パイプハウス導入促進や、水田活用型（土地利用型）園芸作物の導入、メロン・だだちゃ豆などの販促・PR活動、畜産経営の安定を求めた。



要請書を手渡す伊藤専務（右）

利便性高め不動産センター移転オープン



移転オープンを祝いテープカットが行われた

不動産センターは10月10日、J A 鶴岡ビル（旧ジブラルタ生命鶴岡ビル）へ移転オープンした。移転に合わせ旅行センター駅前店も併設された。

この日は、関係者によるテープカットでオープンを祝った。J A 鶴岡ビルは、ジブラルタ生命より売却の打診があり、本所敷地に隣接するなど条件もそろい購入。同ビル1階を改装し、同J A 本所で営業していた不動産センターを移転、旅行窓口も併設し、より利便性を高めた。

不動産課石塚清昭課長は「これを機に、より一層組合員・利用者の期待に添えるよう職員一同、気持ちを新たに努力してまいります。ぜひ一度ご来店ください。笑顔でお待ちしております」と話す。今後、同ビルへ2019年度をめどに企画管理部など本所機能を移転。その後、現在の耐震基準に適合しないため本所の解体が予定されている。



店内の様子



旅行センター駅前店も併設



J A 鶴岡ビル1階に移転

不動産センター

住所 〒997-8558 鶴岡市日吉町3-1(1階) 電話番号 0235-23-5029 Fax 0235-23-7768 営業時間 平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 休業日 日曜、祝日

旅行センター駅前店（不動産センター内）

電話番号 0235-33-8637 Fax 0235-23-7768 営業時間 平日 9:00~17:30 休業日 土曜、日曜、祝日

駐車場は、J A 鶴岡本所・金融本店の駐車所をご利用ください。

つるおか大産業まつり2017

10/21(土)・22(日)

鶴岡市が主催する「つるおか大産業まつり2017」が10月21日・22日の2日間、鶴岡市の小真木原運動公園にて開かれ、JA鶴岡や青年部などの各組織が出店し会場をにぎわせた。

初日は、天候にも恵まれたが、2日目は、あいにくの雨。イベントの一部は体育館で行われたが、2日間の来場者数は2万5000人（主催者発表）と多くの方が訪れた。



田川焼畑赤かぶ漬けの販売



新米の販売コーナー・新品種米「雪若丸」は限定販売



ミカン・玉ねぎなどの詰め放題



女性部 米粉入り豚汁うどん



産直館 農産物の詰め放題・加工品の販売



田川焼畑生赤かぶの販売



農産加工グループ 豆ごはんの販売



農産物グッズの正解者には抽選でワラワラプレゼントをプレゼント



精肉・卵の販売



菓子工房けさらんハウス きんつま焼き



パンハウス庄内



打ちたての田川そば

金賞となる鶴岡市長賞を受けた佐藤守さん(外内島)のトルコギキョウ「ラファールブルー」



庄内フラワーショー JA鶴岡の花を使ったフラワー装飾



青年部 熱血焼きそば

職員紹介

私の思い・みなさんに伝えたい!!

組合員紹介

金融本店で短期共済係を一年半担当し、共済渉外係として三年目になりました。

日々組合員の皆様や周囲の職員の方々に支えられ業務を行っています。お客様より「ありがとう」「助かったつけ」などの言葉をいただけ



小玉 真美さん
金融本店 共済主任

原動力

とお役に立てたのかなと私自身とても嬉しくなり、これからの原動力になっています。

私生活では週末は高校二年生の長女のソフトボールの試合の応援に家族で行っています。姉の影響もあってか小学校四年生の次女もキャッチボールを始めるようになりました。

これからの成長を見守りながら「私も体を動かさないと!」と思いつつでもなかなか行動にうつせないので、今年冬こそ少しづつでも実行したいと思っています。



加藤 重弥さん
水無

守りたいものの遣し方

子育て卒業。職業人も卒業。ようやく待望の「晴耕雨読」三昧を決め込んでいたら、東京に居る倅から「親父、目標を持ち続けるよ」と励ましのメールが届いた。ありがたや、「老いては子に従え」とも。新しい事にチャレンジして笑い話を遺すの

も「一興」、云われるがままに始めた処、昔の友人達が所要所で協力してくれた。ありがたや。そんな気付きを与えてくれた倅の成長を刮目してみると守って来たもの、守りたいものを次の人にも視えるようにしなければと思う。

人も社会も成長しながらも古い友人達は、「一途」だった頃を思い出し手を貸してくれた。倅は体験するだろうか、共有体験仲間の絆の深さや強さを。「諸行無常」の世に先代と交わした「暗黙の約束」は守れたと思うのだが。

花き栽培を始めてみませんか

花き振興部会

専門部紹介



JA鶴岡花き振興部会はアルストロメリア、トルコギキョウ、ストック、キク、ユリなどの各種花き生産者で構成されており、構成員は107名です。

1年を通して存在感のある産地づくりをモットーに、東北・関東市場をメインに出荷しています。冬作の品目を充実させながら、季節ごとの品目を組み合わせることで、周年出荷ができる専業農家の確立・拡大が大きな目標です。

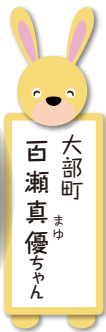
当部会は、花き栽培を始めて十数年のベテランから栽培を始めて数年の若手まで、生産者の年代が幅広いです。特に近年は園芸品目が全く初めての方も入会し、活躍しています。初めての方も大歓迎です。一緒に花の生産に携わってみませんか？



平成28年11月生まれ

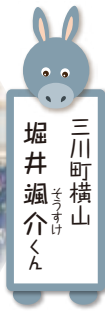
父：晋さん 母：真実さん
(悦子さんのお孫さん)

あかちゃんの写真を広報に掲載しませんか？
お孫さん・お子さん、自薦他薦は問いません。
ご希望の方は、お気軽に総合企画課までご連絡下さい。
きつと、良い記念になりますよー！



平成27年12月生まれ

父：三則さん 母：久美子さん
(弘さん、多津子さんのお孫さん)



平成28年1月生まれ

父：翔太さん 母：千加さん



写真掲載のご希望は総合企画課 ☎33-8179 までお気軽にご連絡下さい。



わが家の ペット



物静かだまん丸なソラ君 元気でヤンチャなトラ君

おなまえ ソラ (写真左)、トラ (右)

飼い主 江川みつきさん (地区 福田)

品 種 雑種

孫が小学生の時に江川家に来たノラ猫のソラ。昨年孫が知り合いの家から連れて来たトラ。俺様なトラを心配するソラ。二匹仲良くケンカしながら飼い主を振り回している毎日です。

家庭菜園

あなたも
チャレンジ!



板木技術士事務所 板木利隆

ハクサイの上手な貯蔵方法

大きく育ち、固く結球したハクサイは、一斉に収穫するだけでなく、ある程度畑に残して順次収穫し利用したいものです。

この場合、畑でそのままにしておくと、厳しい霜や寒風のために、球の頂部の柔らかい葉や外葉がカサカサになり、やがてそこから腐って食べられなくなりま

す。防寒対策を施して長い間利用したいものです。一番簡単な防寒対策は、霜が降り始めたころ、先に収穫した株の少ししおれかけた外葉を球の頭上に4〜5枚覆いかぶせておくことです。少ししおれかけていた方が球になじみややすく風で吹き飛ばされにくいので好都合です。

畑にある程度長く置く場合は、なるべく多くの外葉

【畑での防寒】



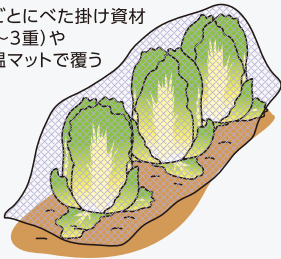
収穫済みの株の下葉を球の頭上にかぶせる



外葉で球を包みポリテープや細縄で縛る

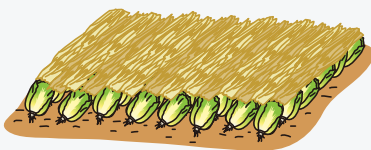
【畑での保温被覆】

列ごとにべた掛け資材(2〜3重)や保温マットで覆う



【畑でまとめて貯蔵(約2カ月)】

根を付けたまま株を引き抜き、まとめて稲わらで覆う



【家庭での簡易貯蔵(約1週間)】

新聞紙にくるんで冷暗所に。頭を上に向けて

で球を包むようにして、ポリテープや細縄などで縛っておきます。元気良く育つと葉折れがひどく、作業しにくいので、多少霜に遭い葉が柔らかさを増してから作業するようにしましょう。

相当広い面積の畑で多数の株を貯蔵するには、べた掛け資材(長繊維不織布、割繊維不織布)を広げて、頭上に2〜3枚重ね掛けするのが効果的です。プラスチックフィルム、特にポリフィルムは、じか掛けにするとその直下は一時的に外気温よりも低くなってしまうので、使用しないでください。

大面積の栽培での本格的な貯蔵法として囲い貯蔵法があります。これは、ハクサイを畑から根ごと引き抜いて、別の場所に根を下方に向けて密に並べ置き、上に稲わらなどの保温材で覆って寒さから守る方法です。この場合、寒害を受ける前に、通常よりもやや若取りすることが大切です。そして寒害を受ける直前に貯蔵に取り掛かるよう配慮します。この方法を上手にすれば、約2カ月も長期貯蔵することが可能です。

いずれの防寒、貯蔵方法でも、貯蔵する前にアブラムシやアオムシなどが寄生していると増殖してしまう恐れがあるので、事前に薬剤防除をすることが肝要です。収穫後に短期間品質を保持するには、新聞紙にくるんで涼しい場所に立てて置くのが簡単です。これで約1週間鮮度を保てます。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

JA鶴岡発信

農業・農政情報+

次年度の作付におすすめの園芸品目

(野菜編)



今年も残すところあとひと月ほどとなりました。次年度の営農計画を立てるに向けて特にお勧めしたい園芸品目をご紹介します。

○ミニトマト(6月播種→7月定植→8月下旬より収穫) 労力目安として2名で300坪まで。ピーク時は毎日収穫が必要です。整枝や着果促進など長期間しっかりした管理が必要ですが、近年単価が安定しているため100坪あたり36万円の所得が見込めます。

○つる有さやいんげん(8月播種→10月収穫) 労力目安として2名で300坪まで。作型によっては稲刈り終了後より収穫できます。ハウスの棟数が少なくても収穫期間が長く、つる無しいんげんと比較して収量が高くなります。

○加工キャベツ(7月播種→8月定植→10月〜11月収穫) 労力目安として1名で20aまで。育苗や定植作業が忙しい夏場ですが、労力のかかる収穫は稲刈り後になります。また、枝豆用定植機があれば特別な機械は必要なく初期投資が少ない品目です。ご紹介した品目の詳細な資料もございますので、希望する方は園芸特産課または支所園芸指導員までご相談ください。

信用課からのお知らせ<金融編>



ごぞんじですか？ JAバンク利子補給

原則として100万円以上のお借入を対象に、一定の条件を満たした場合、
お借入当初3年間、最大1.0%の利子補給を受けられます！

JAバンクでは、厳しい経営環境に直面する農業の担い手に対し、農業関係資金（アグリマイティ資金・JA農機ハウスローン）のうち、地域農業の振興に資する資金を対象に、最大1.0%の利子補給を行っています。

JAバンク利子補給の仕組み（金利は平成29年11月1日現在）

基準金利 (変動金利) 1.20%	−	利子補給率 (最大) 1.00%	=	実質負担金利 (お借入当初3年間) 0.20%
--------------------------------	---	-------------------------------	---	--------------------------------------

※4年目以降はその時点での基準金利が適用となります。

※お借入にあたっての詳しい内容・条件等については窓口までお問合せ下さい。
※お申込みに際しては、当JAおよび保証機関において所定の審査をさせていただきます。審査の結果によっては、ご希望に添いかねる場合もございますのであらかじめご了承ください。



雑誌『家の光』に掲載されている料理をご紹介します。



レシピ
のご案内

※料理レシピのインターネット上への公開は認められていないため、本誌のみでの公開となります。

江戸川区民まつり・つるおか大産業まつり

鶴岡産農産物を大いにPRしました。



「盟友の農産物を販売！」

当青年部では、10月に様々なイベントに出展して鶴岡産農産物のPRを行いました。

10月8日に東京都江戸川区で開かれた江戸川区民まつりには盟友5人が参加し、盟友が作った土付きネギやミニトマト、ぶなしめじ、新米を販売しました。まつり当日は晴天の中、開始時間前から鶴岡の農産物を買



「大産業まつりで焼きそば・フランクフルトを販売」

い求めるお客さんでいっぱい午前中のうちにすべて売り切れになりました。

また、10月21・22日に小真木原運動公園で行われたつるおか大産業まつりでは、初日は天候がよかったものの、2日目は雨の中で売れ行きが伸びなかったですが、盟友に代々受け継がれる味を今年も提供する事が出来ました。

西郷支部 パソコン講習をスタート



女性部だより

大泉フレッシュ部会
米粉でお菓子作り

大泉支部フレッシュ部会は10月17日、鶴岡市農村センターで「おうちでも作れるお手軽お菓子づくり講習会」を開き、米



個人のパソコンに合わせて使い方を教わります。

西郷支部は18日、西郷支所を会場にパソコン講座を開講しました。

この事業は、部員内でパソコンを習いたいというアンケート結果を受け、今年新たに企画し、初心者コース・応用コースなど3コースを開設。職員が講師を務め、部員15人が参加。初心者コースの第1回となる今回は、パソコンの基本的な役割と基本動作を学びました。



名物の大鍋豚汁が好評でした。

つるおか大産業まつりに出店

10月21日・22日に開催されたつるおか大産業まつりに本部役員で出店し、豚汁と米粉うどん入り豚汁を販売しました。



米粉のプレツェルを作る部会員。

粉を使った、プレツェル、カボチャのミニドーナツ、菊のシロップ煮のセシフォンケーキの3品を作りました。



【訪問介護事業】 ご自宅で安心できる生活のお手伝いを致します。

加齢による物忘れと認知症の違いは？
物忘れと認知症は別のもの！

	加齢	認知
物忘れ	自覚している	自覚がない
体験	一部忘れ	全体忘れ
ヒントがあれば	思い出す	思い出せない
日常生活	支障ない	支障ある
判断力	低下しない	低下する



認知症の症状としての物忘れ

「約束したこと」「印鑑をしまったこと」を忘れるといったそのこと自体を覚えていられない経験そのものを忘れてしまうため、特に食事や外出等を何度も同じことを尋ねるといったことが生じます。もしも、このような症状の方がいらっしゃいましたらお気軽に福祉サービスまでご相談ください。



登録ヘルパーとは？

家事・農作業との両立やWワークをしたい方にもおすすめです！また、ご利用者のご自宅に訪問してサービスを提供しますので、ご利用者の近くで生活を支えることのできる、とてもやりがいの持てるお仕事です。まずはお話しだけ、という方も大歓迎です。

お問い合わせは、福祉サービス ☎0235-25-4345 まで

News from welfare ● 福祉だよこ ●

(キリトリ線) ✂

郵便はがき
997-8790

鶴岡市日吉町3番7号
JA鶴岡
「組合員の声」係 行き
「ふれあい伝言板」係 行き



※差し支えなければご記入ください
お名前(フリガナ) 性別 年齢 性別 男・女

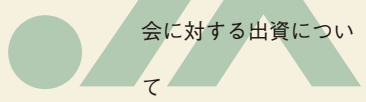
ご住所 〒
電話番号 () - - 希望する・希望しない

※ポストに投函されるが、下記の無料ファックスダイヤルまで送信下さい
(無料ファックスダイヤル) 0800-800-5090

理事会開催報告

2017.10.27 開催

- 第1号議案 平成29年度上半期決算
について
- 第2号議案 農産物検査業務規程の
一部変更について
- 第3号議案 山形県農業信用基金協
会に対する出資につ
いて



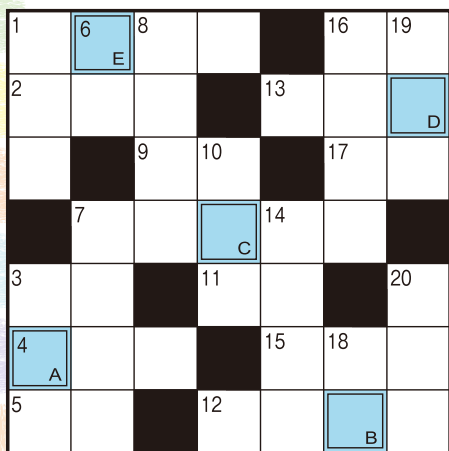
以上の全議案を慎重審議の上、全て原案通り議決されました。



差出有効期限
平成30年4月
14日まで
(切手不要)



色付きマスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉はなんでしょう？締切は12月6日。どしどしご応募下さい！
正解者の中から抽選で5名様に、1,000円分の『JA鶴岡お買物券』をプレゼント！ご応募お待ちしております！



先月号の答え コハルビヨリ

タテのカギ

- 1 2人組はコンビ、3人組は――
- 3 親同士がいとこです
- 6 ーに交われば赤くなる
- 7 「おはよう」とか「さようなら」とか
- 8 コロンブスはインドを目指してーを
続けました
- 10 カカオ豆から作る飲み物
- 14 サンタクロースが乗ったそりを引きます
- 16 ブーケともいいます
- 18 太陽が沈むとやって来ます
- 19 進化の反対語
- 20 人の言葉をまねるのがうまい鳥。ー
返しに答える

ヨコのカギ

- 1 大みそかには――そばを食べる人も多い
- 2 英語ではドラゴン。想像上の生き物です
- 3 物を燃やすと残るもの
- 4 鶏の頭の赤い冠
- 5 何度も練習して、ようやくーをつか
んだ
- 7 「山！」「川！」
- 9 現在よりも前です
- 11 庭に掘りたがる犬もいます
- 12 デジタルカメラには装填（そうてん）
しません
- 13 少年剣士たちが振る物
- 15 月曜と水曜の間
- 16 お子様ランチに立てられていることも
17 狩りにも使われる鳥

「食欲の秋」はハガキの内容がいつもより食べ物に関することが多い感じがします。はがきを読んでいるだけで食べたくなってしまいました。美味しいものが庄内には揃っていて嬉しいな。食べすぎには注意して「食欲の秋」を堪能しましょう。

健康な体はありがたい。
(田川 / 70代女性)

▼「食欲の秋」うれしい秋です。ね。梨・柿・ぶどう・きのこ・もって菊・秋鮭・新米・芋煮の芋もほっこり美味しい。庄内の食文化は豊富で幸せ。赤カブもそばも日本酒もワインも。美味しくいただける。

▼旬の鮭でホイル包み焼き、ムニエル、煮つけ、刺身といろいろなやつてみました。どれもおいしかったなあ
(由良 / 80代女性)

いろいろなメニューが作れて、うらやましいです。鮭おいしいです。すよね。子供もだいすきです。焼き鮭がおにぎりに入っていると嬉しそうに食べるなあ。



■けさらんちゃんへのメールは、kesaran@ja-tsuruoka.or.jp までどうぞ！

ふれあい伝言板・組合員の声 応募用ハガキ

JA鶴岡ではよりよいサービス提供のため、皆様の声を大切にしています。皆様の声の窓口として、「組合員の声直通便」ハガキをご用意いたしましたので、このまま切り取ってぜひご利用下さい。

また、このハガキはクロスワードパズルの応募用、ふれあい伝言板への投稿用にもお使いいただけます。

クロスワードのこたえ

■正解者の中から、抽選で5名様にJA鶴岡事業利用券をプレゼント致します。「組合員の声」のみご利用の場合、記入なさなくても結構です。

ふれあい伝言板

■広報に対するご意見、ご感想のほか、誰かに伝えたい・聞いてほしい話などなんでも結構です。皆様のあたたかいお声をお待ちしています。

組合員の声 直通便

■JA事業に対する皆様の声をお聞かせ下さい。頂いたご意見は匿名にて広報へ掲載させて頂く場合があります。



肥料価格改定のお知らせ
(11月～H30年5月)

全農は、平成29年肥料年度第二期(11月～平成30年5月)価格を6月より交渉開始し価格決定しましたので、概要をお知らせいたします。

①肥料原料の国際市況は、尿素やリン安が軟調に転じているものの、加里は世界的に好調な出荷となっており、国際市況は今後も堅調に推移していくと見込まれます。

②窒素質価格・製造諸経費へ影響を与える原油市況は、協調減産に参加していない産油国での増産等により、現在は40ドル台後半に下落しています。外国為替相場は1111～114円のレンジ相場で推移している中、米国の利上げや保護主義姿勢を強めるなどの見方が交錯しており、先行きが不透明な状況です。

③トラック運賃は、基準となるトラック運送約款が11月に改定され、運賃の対象となる業務が明確に区分されることから、物

流費の上昇が懸念されています。

④メーカーの値上げ要請に対し11月間近まで交渉を重ね、農業情勢や国際市況を踏まえ、値下げで合意しました。

当JAでは、水稲用14オールは前年同期比予約価格で1袋50円(税込)の値下げ、その他の主要銘柄についても、前年同期比予約価格で値下げとなっておりますのでご理解願います。

なお、鶏糞(ペレット)に関しても大きく値下げとなっておりますので、ぜひご利用ください。詳しくは当広報の裏表紙をご確認ください。

【お問い合わせ先】
生産資材課
☎0800-800-6006

**平成30年用生産資材大口利用
対策の支出基準のお知らせ**

生産資材大口利用対策要領に基づき、該当する個人・生産組織の皆様には11月のふれあい外務にて配布致しますので、ご確認ください。

【お問い合わせ先】
生産資材課

☎0800-800-6006

西郷給油所の営業時間の変更について

【期間】
12月1日～2月28日
【営業時間】
7時30分～17時30分
【定休日】
日曜・祝日

【お問い合わせ先】
西郷給油所 ☎76-2390

組合員資格の変動について

組合員資格に変動があった場合は、当JAの定款に基づき資格変更の手続きを行ないますので、JAの最寄りの支所・支店へお申し出ください。

家の光 12月号



付録がふたつ!!

【第一別冊付録】
2018年
家の光家計簿

【第二別冊付録】
もしもどきも安心
2018未来にのこす
わたしノート

《特集》
繰り返し作りたい!
新定番おせち



※内容は変更されることもあります。
お問い合わせは
生活課(☎23-5045)まで
お願い致します。

灯台
あかり

「空模様」

勤め先の玄関を出ると左手に麻耶山系に続く金峯山とその奥に鎧ヶ峯が望まれます。やっと、緑に覆われた中に黄色や赤っぽくなくなった紅葉が見えるようになってきました。いつもより、くすんで見えます。

今年春から天候が不順で寒かったり長雨が続きたりいつもの年とちよつと違います。

9月～10月にかけては毎日のように一次的に雨が降り、つい先日までコンバインの音が聞こえていました。昔は雪が降るまで杭掛けをしている田圃もありました。いよいよ白いものが舞い降りるのも間近かなと感じられます。

来年は、是非平年並みの気候で豊作になりますように。

広報委員 伊藤 敏夫
(湯田川)

JA櫛引農工連

年末のみそキャンペーン

月山 750g



田園 1kg



産直館 白山店・駅前店・のぞみ店で

12月1日~12月30日まで
5%引きで販売します。

JA 櫛引農工連の味噌の特徴は
折込みのチラシをご覧ください。

JA櫛引農工連の共同購入

冬の特選ギフト

ご案内

い 《ストレート甘酒
+漬物セット》
セット



甘酒300g×2
しなべきうり95g×2
ぜんご漬75g×1

は 《お漬物セット》
セット



しなべきうり95g・ぜんご漬75g
しば漬140g・ピリ辛胡瓜ごぼう漬100g
からし漬120g・わらびしょうゆ漬100g

ろ 《ストレート
甘酒セット》
セット



甘酒300g×5

る 《調味料セット》
セット



味よし1L・本醸造1L
月山田舎みそ750g×2

ご注文は折込みの注文書に記入の上、
生活課までお願いします。

鶏ふん(ペレット) 15kgがお求めやすくなりました!

皆様より広くご利用いただいている「鶏ふんペレット」が、このたび価格改定され、よりお求めやすい価格となりました。

成分や形質など、内容はこれまでと同じです。

鶏ふんは肥料成分に加え有機物を多く含んでおり、「肥料効果」と「土壌改良効果」を併せ持っています。ぜひご利用ください。

肥料名：醗酵鶏ふん(ペレット)

正味重量：15kg/袋

成分：窒素4.0%、りん酸5.0%、
加里2.5%、C/N比7.0%

使用のめやす (10aあたり基肥)	
葉菜類	15~20袋
果菜類	15~20袋
根菜類	10~15袋
水稻	7~10袋
果樹	15~20袋

新価格 **205** 円 ← 旧価格 **356** 円

※税込み、1袋あたりの価格です。



変更後



変更前

パッケージが変更になりました。

●お問い合わせは 生産資材課 0800-800-6006



暮らしに幸せ運ぶ

JA鶴岡広報誌『けさらん』No.563 2017年11月発行

●連絡先/鶴岡市農業協同組合 〒997-8558 山形県鶴岡市日吉町3-7 0235-23-5090
●ホームページ <http://www.ja-tsuruoka.or.jp> ●Eメール kesaran@ja-tsuruoka.or.jp